



吉村和就先生 特別講演 『世界と日本の水問題』

12月20日(火)

- ◆ 時 間 13時00分～14時30分／受け付け 12時30分～
- ◆ 参加費 無料
- ◆ 会 場 秋田県立大学 秋田キャンパス
大学院棟 大講義室 (M216)
〒010-0195 秋田市下新城中野字街道端西 241-438
TEL.018-872-1500

【講師プロフィール】 1948年秋田県秋田市生まれ。グローバルウォータ・ジャパンGWJ代表、国連テクニカルアドバイザー ISO/TC224 WG3（上水道）日本代表。水環境問題の専門家として、水の安全保障戦略機構・技術普及委員長、経済産業省「水ビジネス国際展開研究会」委員、新日本経団連・地球環境部会委員、文部科学省・科学技術動向研究センター専門委員、厚生労働省・水道事業ガイドライン制定専門委員、他を歴任。著書に『水ビジネス 110兆円水市場の攻防』『日本人が知らない巨大市場 水ビジネスに挑む』『水ビジネスの新潮流』『ニッポンの水戦略』『実用 水の処理・活用大辞典』他、多数

【講演概要】

日本に住んでいると実感が無いが、世界人口が70億人を越えた今、人類は水の危機に直面している。過去100年間の人口増加は3倍であったが、水需要は6倍に膨らんでいる。その理由は経済の発展、人口増加さらに生活文化の向上（個人の水需要が倍加）である。現在でも世界の水資源は不足している。つまり21世紀は水なくして成り立たない世紀である。あらゆる生態系にとり、無くてはならない水、それを多面的に述べてみたい。

第Ⅰ部は、世界と日本の水資源問題として、枯渇する水資源の現状と、食糧問題、特に仮想水（バーチャルウォーター）について紹介する。日本は世界最大の仮想水輸入国である。

第Ⅱ部は、最近の話題として①東日本大震災における上下水道の被害と復旧・復興案について現地視察を基に国の政策を紹介。②は福島原発事故による放射能汚染の実態を紹介。

第Ⅲ部は、秋田の経済と文化を支えてきた雄物川の治水と舟運の歴史を紹介する。

【申し込み】 事前の申し込みは不要です。直接会場へおいで下さい。

【問い合わせ】 秋田県立大学・自然生態管理学研究室（日高）

TEL：018-872-1622 FAX：018-872-1677

主催：秋田県立大学

後援（案）：秋田県 秋田市 秋田県土地改良事業団体連合会 大瀧村役場
環八郎湖市民ネットワーク